

一問一答方式による一般質問



新型コロナウイルス感染症対策

長田 忠広



問 保育所・幼稚園などの児童福祉施設職員に支援金（慰労金）制度を設けてはどうか伺う。

健康福祉部長 本来は国で対応すべきものと考えます。そこで現在、市長会に要望書を提出しているところ です。

問 国への要望は大事である。その結果、国ではできないとなった場合には、市独自の支援を考えたどうか伺う。

市長 大変難しいところです。やはり国の判断を待ちたいと思います。

発熱外来整備の進捗状況

問 これまで発熱外来の設置を強く求めてきた。そこで、発熱外来診療体制整備の進捗状況を伺う。

健康福祉部長 現在、診療の実施体制などについて、岩沼市の医師会と市内救急指定病院の間で協議を行っていると同っています。また、設置に当たりましては、市の支援として、どういった支援が必要か、協議を進めています。

問 季節性インフルエンザ予防接

種について、今年度65歳以上の方の予防接種が無料になる。そこで、乳幼児や小学生など2度予防接種を受ける年齢層に対して、インフルエンザ予防接種助成制度を設けてはどうか伺う。

健康福祉部長 今回の高齢者に対するインフルエンザ予防接種の無償化を行った理由は、高齢者がコロナウイルス感染症に罹患した場合には重症化しやすいことなどからです。子どものインフルエンザ予防接種については、あくまで任意接種という形になっていない状況で、助成までは考えていない状況です。

問 高齢者施設における新型コロナウイルス感染者の発生に備えた対応を伺う。

介護福祉課長 感染症対策や支援事業等に関する各種情報提供、介護サービス事業所を対象とした感染症対策に係る研修会を開催しています。

◎その他の一般質問
・市営住宅



これからの観光戦略とビジョン

高橋 光孝



問 今こそ持続可能な観光産業の一つとして、名産品の再開発を行うてはどうか伺う。

市民経済部長 これまでも何度もチャレンジをしてきました。昨年、市内の菓子業者さんと観光物産協会が連携し「岩沼係長サブレ」も開発をしてきました。今後も、商品開発に関わっていきたいと考えます。

問 ラーメンのまちとして売り出している。岩沼ラーメン麺比べのような、岩沼のラーメンのセットを開発してはどうか。

市民経済部長 大変興味深いお話です。投票の上位10店舗で麺比べ、とても面白いと思いますので、観光物産協会などと相談しながら検討してみたいと思います。

問 売上げを継続して確保できるように、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとっている事業者等を市独自で審査し、ステッカーなどで表示し認定することで、利用促進につなげてはどうか。

市民経済部長 現在、宮城県で行っているステッカーやポスターの活用が制度の周知も行き渡っていませんし、効果があるのではないかと考えています。

問 タクシー会社、バス会社、飲食店、施設などに抗ウイルスの光触媒の助成をしてはどうか。

市民経済部長 感染対策については、各自でやっていただいで、市としては、例えば「第2波・新しい生活様式への対策金」などで支援したいと考えています。

問 マイクロツーリズムに目を向けるべきときになってきている。「地域」と「住民」が主役となる観光戦略を行ってはどうか。

市民経済部長 市民の方々のお気に入りのお店であったり、場所であったり、地域の魅力を掘り起こして、それを発信していく。そういった部分のお手伝い、例えばDMOにつなげていく、事業者につなげていくなども含めて発信を行っている、地域・住民が中心に近くなるような観光戦略は考えられると思います。